

「第3回電気・電子教室」

1月14日(土)、御坊市勤労青少年ホームにて第3回電気・電子教室を開催し、クラブ員25名が参加しました。

4年生は、11月から取り組んできた、簡易導通テスター兼プラス・マイナス検知器の最終回です。配線した部品を弁当箱の中に取り付け、フタをして完成です。フタに取り付けたスイッチで、テスターと検知器への切り替えができます。木、プラスチック、銅などにテスト棒を当て、どれが電気を通すのか、班で話し合いながら実験しました。



5年生は、回転式の針金モーターと静電気モーターを製作しました。写真は、静電気検知器の実験の様子です。プラスチックのカップ、アルミテープ、クリップなどを使って製作しました。下敷きで発生させた静電気が伝わって、中央のモーターが回転すると、楽しそうに何度も実験していました。



6年生は、先月から取り組んでいたアンプを完成させました。弁当箱に部品を組み込み、ジャックにはスピーカーを、プラグにはマイクの代わりに圧電スピーカーを繋ぎます。スイッチを入れてつまみを回すと、無事音が鳴り、ほっとしていました。



次回は2月11日(土)、御坊小学校の理科室にて、第1回化学教室を開催します。

(平成29年1月 御坊市少年少女発明クラブ)